

阿木川ダム防災操作を実施

～下流河川の水位を氾濫注意水位以下に低減～

木曾川水系阿木川の阿木川ダム流域では、前線を伴った低気圧の降雨により、4月24日12時頃から雨が降り始め、4月25日9時までに、総雨量約122.7mm（ダム流域平均雨量）の大雨を記録しました。

この降雨により、25日の6時29分に、ダム流入量は洪水量（120m³/s）に達し、ダム流入量が最大となった同日7時10分時点では、ダム流入量の約15%を貯留しました。

阿木川ダム防災操作の概要

流域平均総雨量	ダムへの流入量が最大となった時刻	同時刻におけるダムへの流入量	同時刻におけるダム放流量	同時刻におけるダム貯留量
122.7mm	4月25日 7時10分	毎秒141.06m ³	毎秒119.42m ³	毎秒21.64m ³

阿木川ダムがない場合と比べ、ダム下流の河川水位は、大門地点^{だいもん}で約0.10mを低減し、阿木川ダム防災操作（洪水調節）により、氾濫注意水位（2.20m）を超過することを防げたものと推定しています。

大門地点の水位低減効果

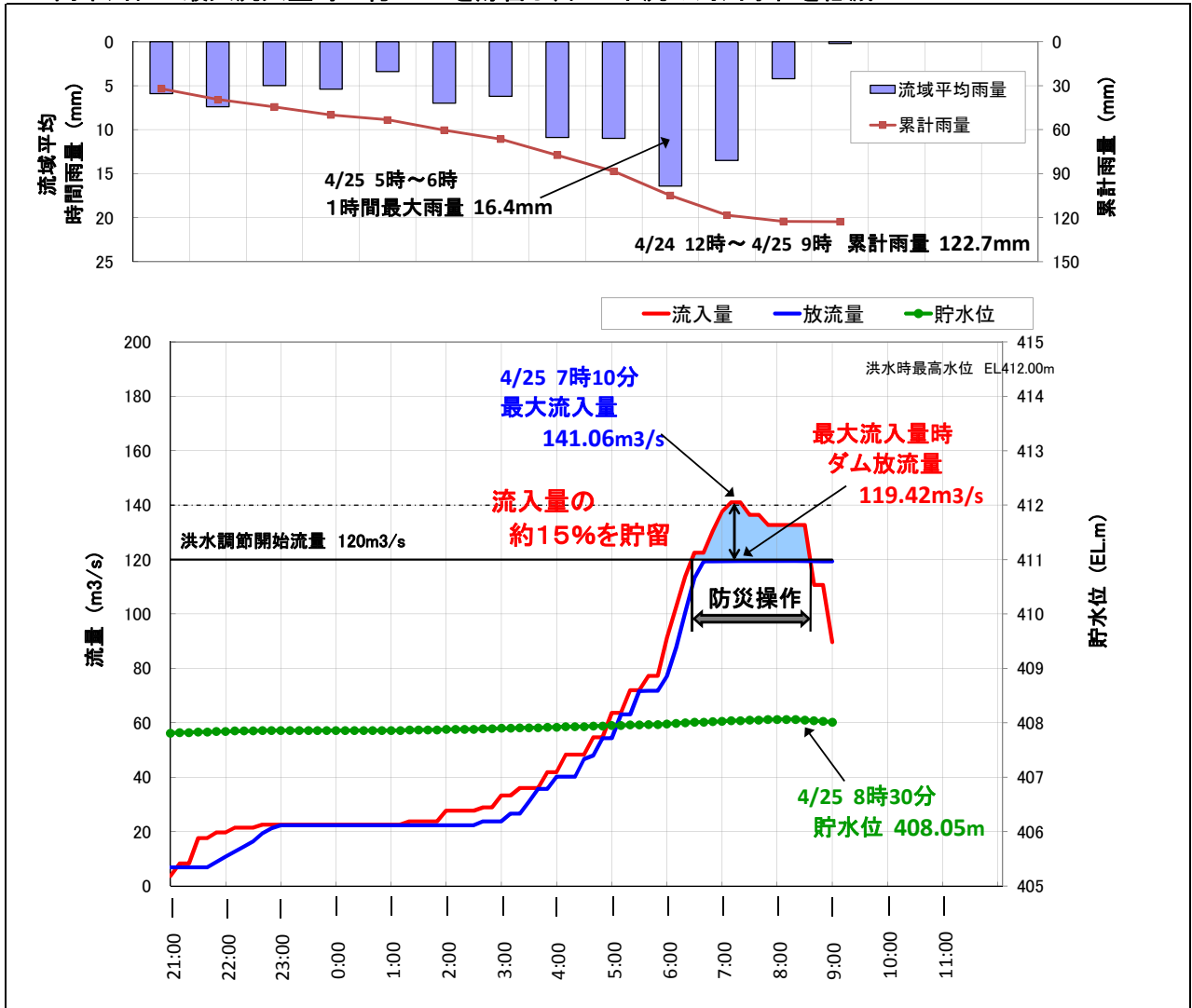
ダムへの流入量が最大となった時刻	同時刻における大門地点の河川水位	ダムがなかった場合の大門地点の最高水位	水位低減効果
4月25日 7時10分	2.14m	約2.24m	約0.10m

*大門地点：大門水位観測所^{えなしおさしまちようしょうげ}（恵那市長島町正家）地点

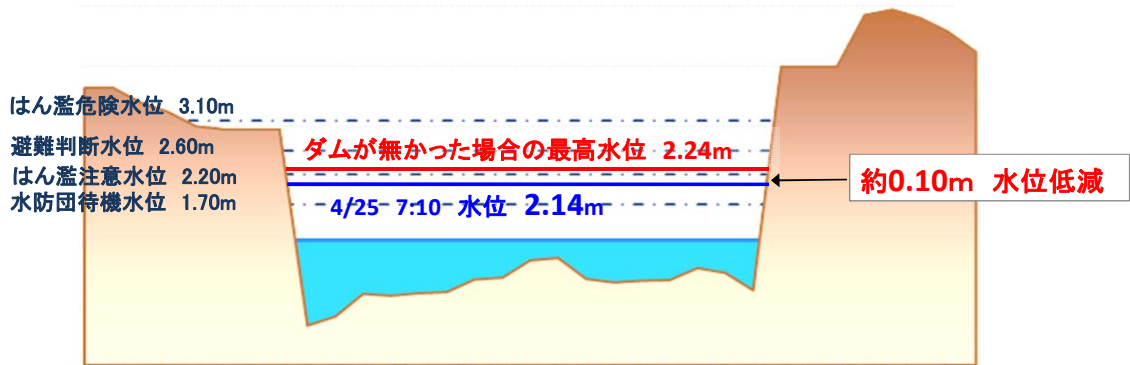
今回の阿木川ダム防災操作（洪水調節）により、25日8時30分時点で、ナゴヤドーム約0.1杯分（約11万立方メートル）の水をダムに貯留しました。

前線を伴った低気圧の降雨による阿木川ダム防災操作について

阿木川ダム最大流入量時に約15%を貯留し、ダム下流の河川水位を低減



下流河川(大門地点) 水位状況



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

大門地点 位置図

